
出発（たびだち）の日

坂口もぐら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

たひだち
出発の日

【Nコード】

N4049L

【作者名】

坂口もぐら

【あらすじ】

ドラクエ？（ファミコン版）の二次創作。エンディングで、7人の仲間を送り届けた後、勇者サキが故郷の村に帰るひと場面。

眼下に広がるのはまるで緑色の絨毯のような深い森、そこにぽつんと穴が空いたように見えるのは小さな小さな村だった。知らなければ恐らくは見落としてしまっただろう。ケージから身を乗り出してそれを見つけたサキが手馴れた操作でガスを調整すると、気球はゆっくりと高度を落とし、やがて村の近くに接地した。

サキは気球を降りると、今は壊れて用をなさなくなつた砦門をくぐつた。

村の入口に立ち、あたりを見まわす。

自分が逃げるようにここを去つたときと変わらぬ廃墟がそこにはあった。

人の気配などありはしなかった。

建物もかつての姿を残したものはひとつもない。

あの日、魔物たちによってすべてが壊され、失われてしまったのだから。

サキは再び歩き出し、村の中をゆっくり見てまわつた。

村の入口にあるのは宿屋をかねた酒場。

サキが剣の鍛錬に汗を流した稽古場。

魔法を教えてくれた先生の家。

父と並んで釣り糸を垂らしていた裏の大池。

あたたかな食事を用意して母が待っていてくれた我が家。思い出されるのはただ楽しかった日々。

しかし今は静かなだけの廃墟が残っているだけ。

朽ちた建物はところどころ蔦や雑草に覆われ、土に返り始めていた。

サキは村の中央にある小さな広場で足を止めた。

幼馴染のシンシアがお気に入り場所だった。

子供の頃、よく花のかんむりを作って遊んでいた。

サキは剣や盾を下ろすと、草の上にとろんと仰向けに寝そべった。しかし抜けるように青い空が眩しく思えて、身体を横に向けると小さくて白い花のつぼみが目に入った。

そのつぼみはサキの目の前でゆっくりと花弁を広げていった。

ただその様子を見入っていると、今度はとなりの黄色のつぼみが口を開いた。

起き上がったサキのまわりで野の花が次々と咲き始めた。

土がほころび、芽が溢れ、背を伸ばし花をつける。

開いた花は微かに光りを帯び、小さな光の粉を宙に放った。

光の粉は螺旋を描いてまわりながらやがて人の形をつくり始める。

それはサキのよく知っている女性だった。

彼女は開いた両手をサキに差し伸べて、あたたかな微笑を見せた。

サキの身体は吸い込まれるように女性の胸に収まり、そっと包まれた。

「・・・サキ、おかえりなさい」

「・・・シンシア、・・・シンシア・・・おねえちゃん・・・」

耳元で囁かれた女性の言葉に、サキの身体から緊張が消え、

いつもの彼女からは想像できない弱々しい声が口から洩れた。

両手を背中に回し、強く抱き合い互いの存在を確かめ合う。

気がつくと、ふたりの近くには長い旅を共にしてきた仲間が立っていた。

ライアン、アリーナ、クリフト、ブライ、トルネコ、マーニャ、ミネア・・・。

泣きそうな顔を見られたくなくて下を向いてしまったが、しかしシンシアに手を引かれると恥ずかしさは消えた。

顔を上げたるとたん熱い涙がこぼれ、頬を伝った。

・
・
・

濡れた頬を冷たい風になでられてサキは目を覚ました。
いつのまにか眠っていたらしい。

空はすでに朱色に変わり、あたりは夕暮れ時の薄暗さに支配されていた。

半身を起こした彼女のまわりには、誰もいなかった。
ただ長く伸びた自分の影があるだけ。

咲いた花などひとつもない。

さつき見たのは夢か幻だったのだろうか……。

夜気を含んだ風がまた流れ、サキの身体を冷たくする。

失われたものが戻って来ない現実をサキに教えるかのように。
でも、

胸の中は不思議と軽かった。

これから強く生きていけるという確信があった。

立ちあがり、尻についた土と草を掃うと、剣を拾って歩き出した。

村の出口で振り向き、

はつきりとした声で一言だけ発すると村を後にした。

「いつてきます」

若い勇者を乗せた気球は村を離れ、新たな冒険の世界にいざなう。

おしまい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4049/>

出発（たびだち）の日

2011年1月27日10時51分発行